

この

瞬間におこっていることは

完全に

修正すべきこともなく

変えなければならぬものもありません。

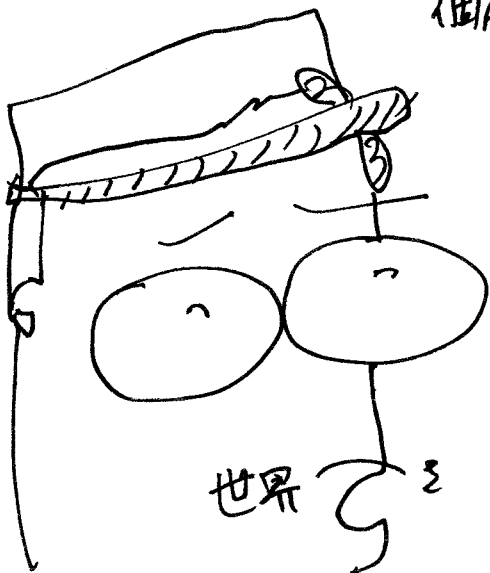
そう思う。胸がすきす。

(私)

私は、今の我以上に好む必要はないと

中か右と。私はおめえ

個々の私を越えたいのです。



これでいいのだ。

これがいいのだ。私は、今、丸山をとおして

世界とを体験し、私はまたがたく今この瞬間ある
ことを自覚している。

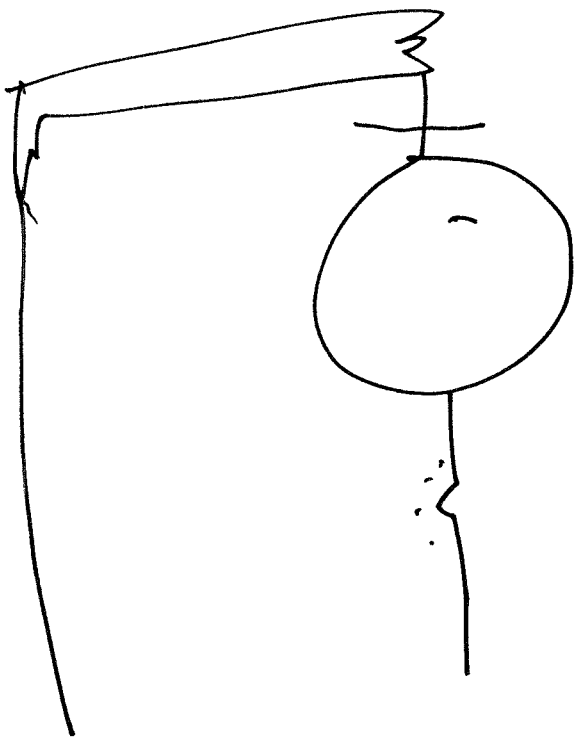
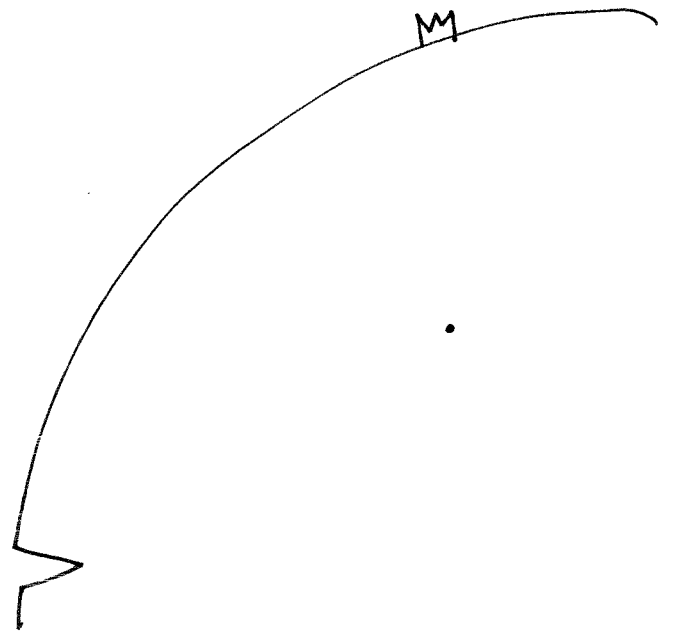
「は
意識をどかりと自分の身体に

ぶらしながら、時に、目を閉じ。

「私とは誰かが」と向う。

問うことが答へにたがるので

ある。



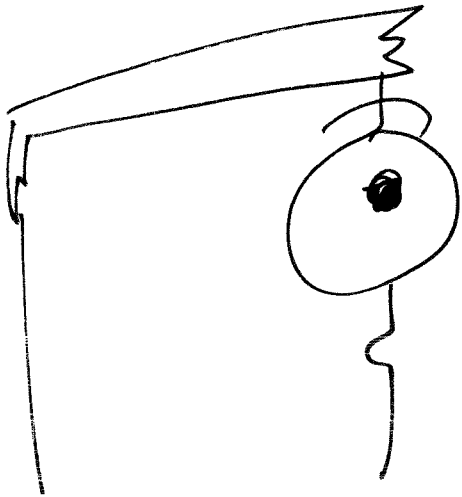
「私とは誰かが」と肉づき。

この向うをきく

意識がきく

それが私と

わかると おもしろいね。



この私が、私を非難する人も
私を擁護する人もあつた。

可憐さが肉側からでていることに
少くも気づくと、理察と
思っているものが、事は絶対的な
ものであり、いかに気づく!!

⁰⁵⁷
自説を 2014年、神社を 静かに

^{11月}
21日 私の肉側から あつたといふと

知るべき、自分も ひと あつたといふと

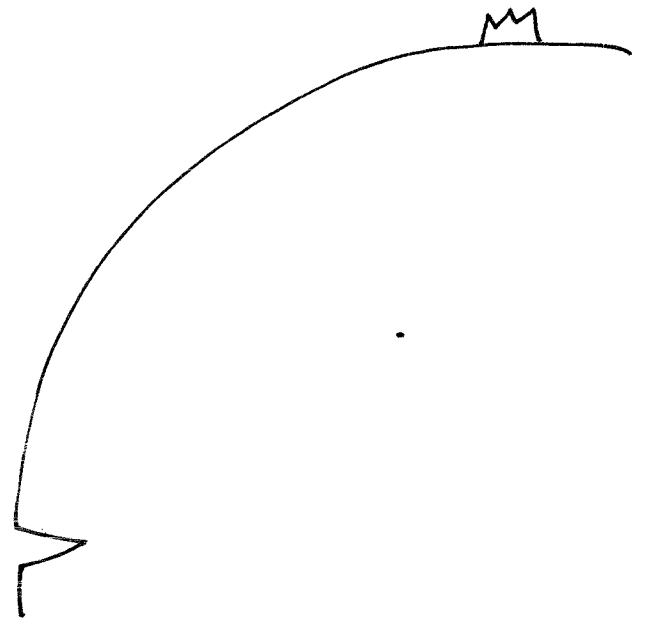
人たつくと 深く かんじする。

もともと

そうであった

ことに気づく

という事。

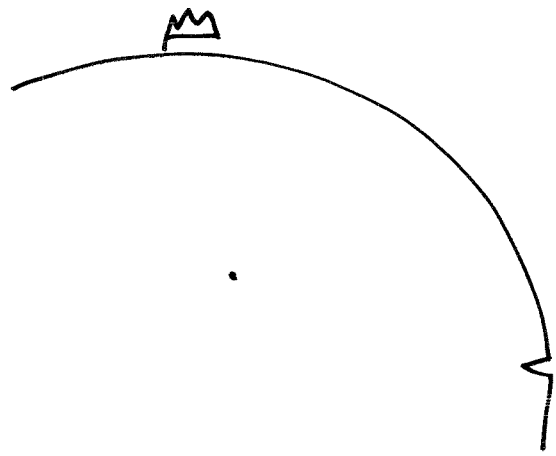


もともと ぼくたちは、ジグソーパズル

まるまゝ一つのよう、時空を内包

する存在であると気づくこと。

意識を病気に広げるんではないこと!!



だから本当は

意識を身体の内

の少し外側に

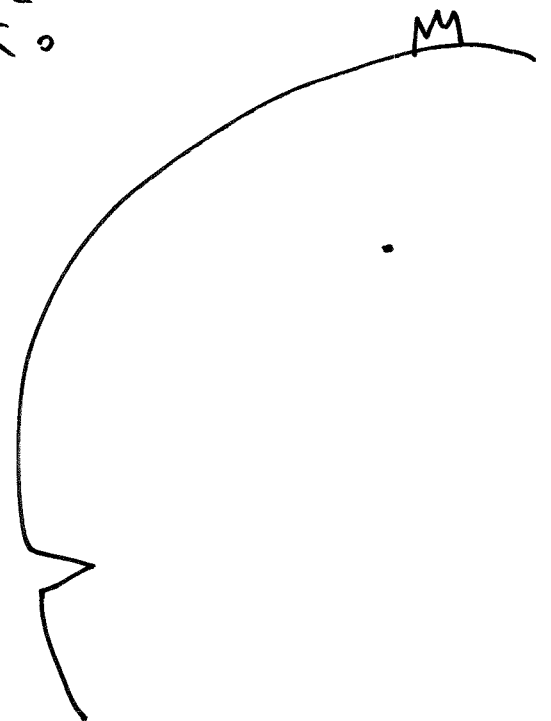
置くのではなく、はじめから

意識はどこにでも、君が意識'

を向けるどこにでもあるという

に気づかされた。

が、経済の人々、このことを
是非わかってほしいんだ。



君とは、意識の海が

肉体にしみこんで中きわたっている

細部
にまで

生命そのものなんだ。

ワグネルにもとるといふ言葉が

はまったこともあるけど、君は

自分がある ということ

知っている ワグネルであるんだ。

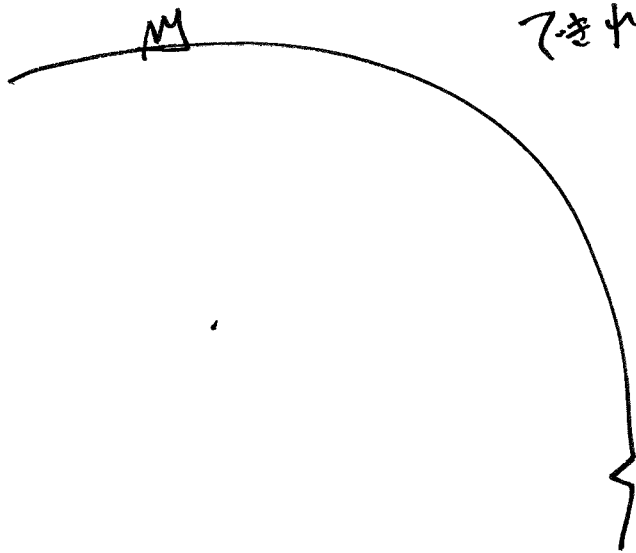
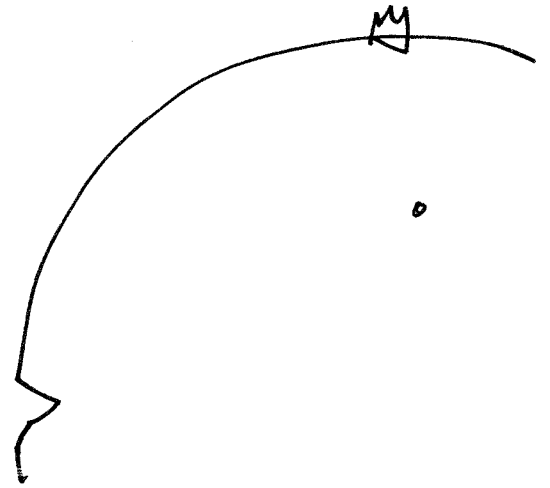
人間として生きている。肉体の自分にかこたえることすべてに心を解き
放す。意識の海が自分でもありと知ることなんだよ。

だからぼくたちは。

意識の力。思いの力

祈りの力で。カンの患者さん

の痛みをいちり奪んだよ。

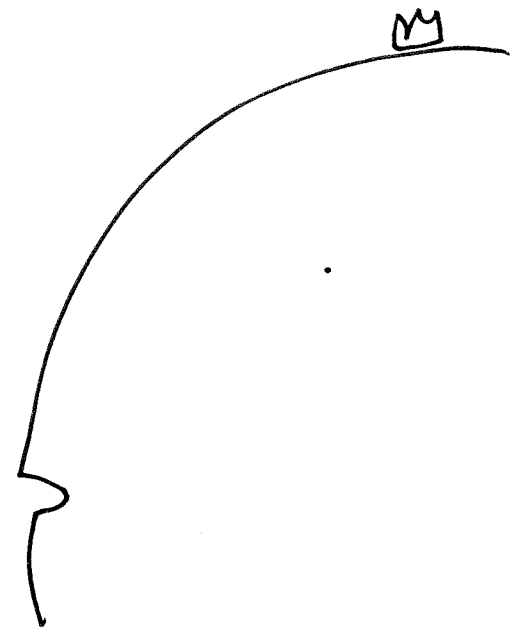


できれば。カンのものを100%

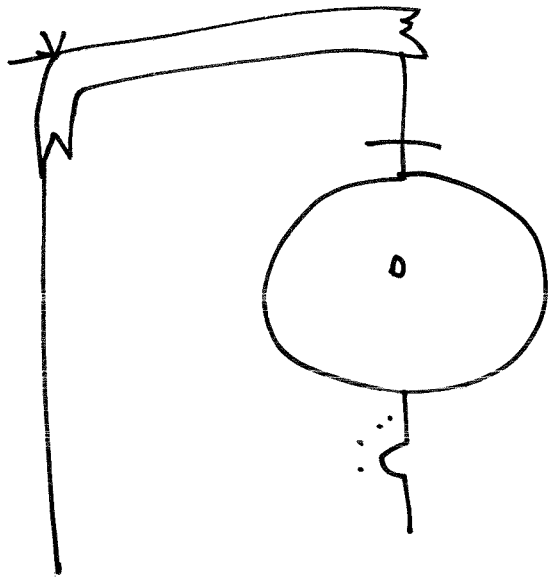
消したいけど...

カンの患者さんが、気がこたで
自分でカンを消す氷戦をさげが

こしおここのかいように今はおんじか
消えにくいのかもよ。



今回のことは

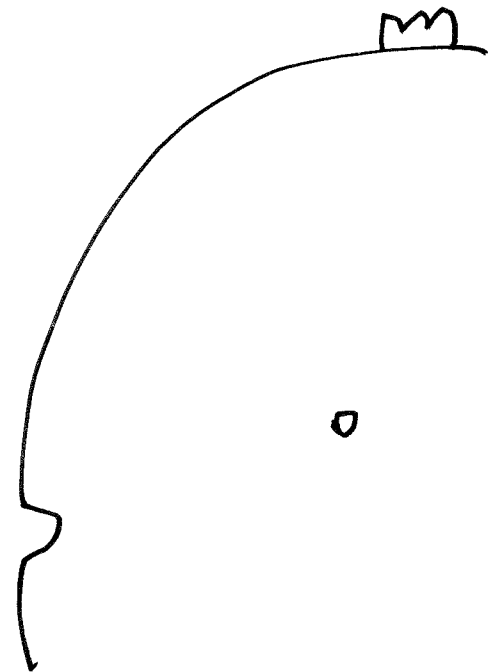


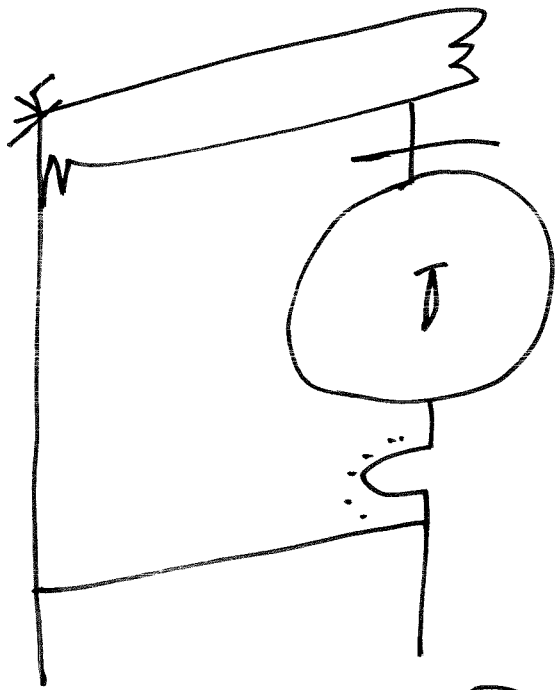
「私とは誰か」の
 すべてを説明できる
 ものではないけどね。

でも、この気持ちは

ほくにとては

よからたよ





空海さん

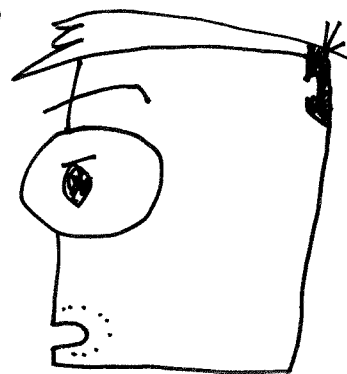
ブツダヤキリスト.

ニサルガッタ. ババジ

● が伝えられたこと

を ぼくたちは しんしに

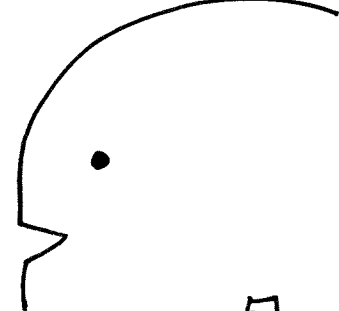
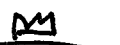
んで 受けとめなくてはね。



☞ ガンが、シという女性のいうことがうも
私とは誰れかBを知ることが出来る。

☞ 私とは誰れかBにフツて。

ほくが説明していくよ。



☞ 私とは誰れかB

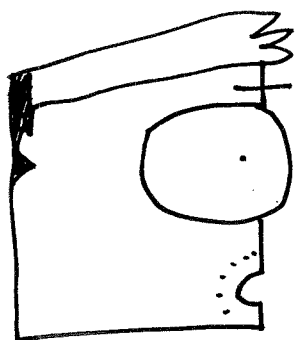
って自問自答す

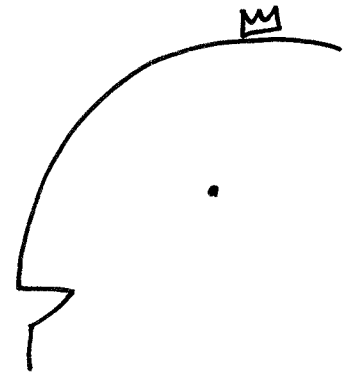
るとき、まずはじめに

君は、自分の中に

何かあるかを考えるたろ。

うん





特になんらかの

症状があると

特に自分の中に

何があるかを

考えてしまおう。

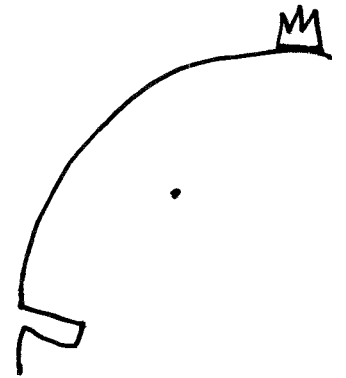
本当の

自分とは、この身体と

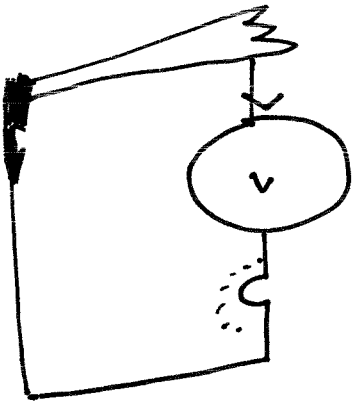
そのなかにいる

意識だと固く信じ

ている。

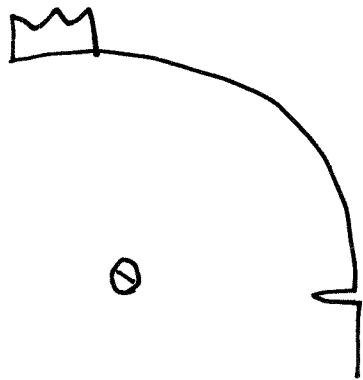


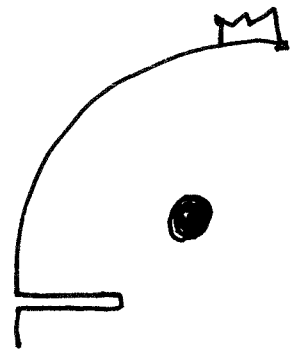
それってやばい
かもね。



やばい

やばい…





君がそのなかに

いるものたぎらぶいて

ごらん、君がその中に

生まれ、その中で生き。

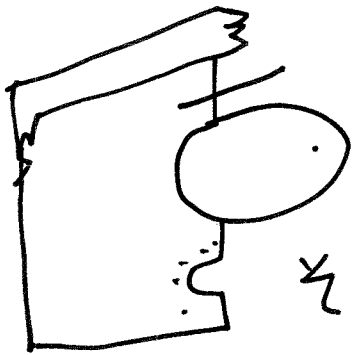
そこその中へと死んでいくもの

に。 凸 …… ガンガジという

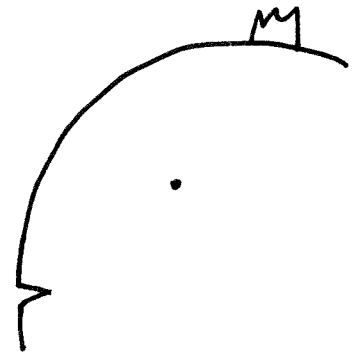
女性の言葉

に 凸 私とは誰か

に付するセントがある。



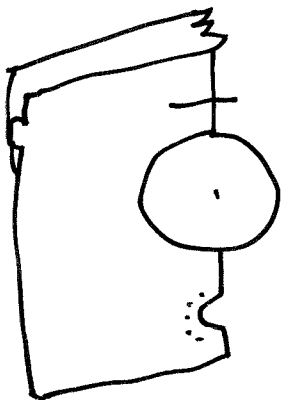
ガンガジがいう
そして、ほくが住んでいる今の世界のことじゃないか!!



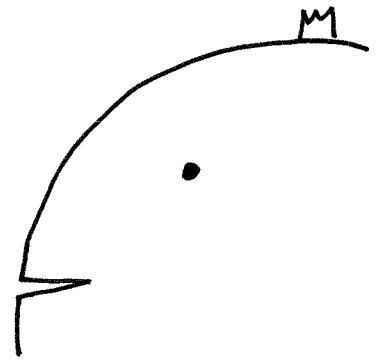
それはちがう。

とうちがう

の??



④5



あなたがその中で生

まれ、その中で生き、

そしてその中へと

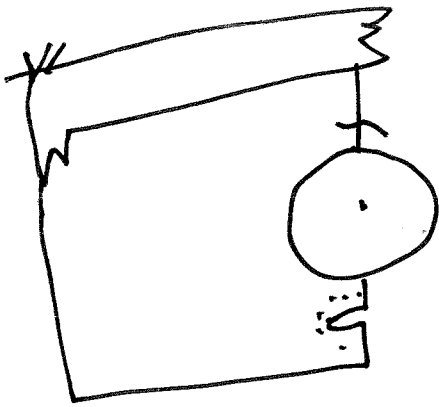
死んでいくもの

ってソウとニラうがミン

だ。

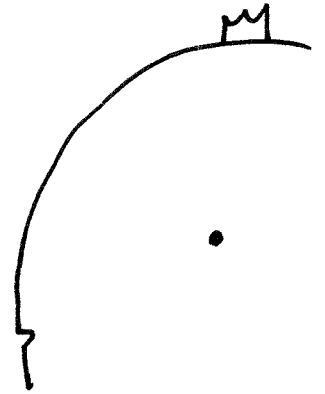
そのとニラうのが

本當の君だ。

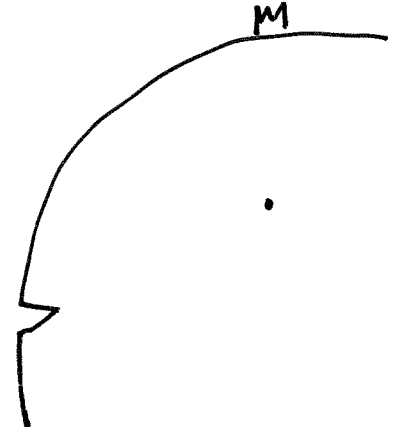


ミンソカ?

うん、ミンソだ。



M



その中で

死ぬとはニラって

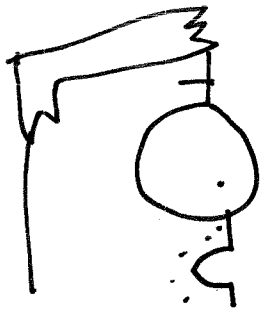
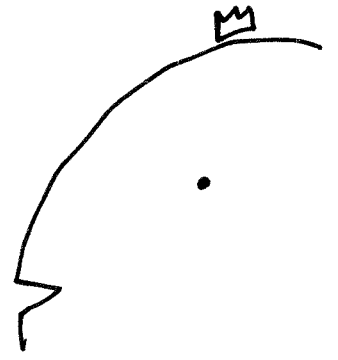
いな、(死んで)を

とると.....

その中へと行くもの

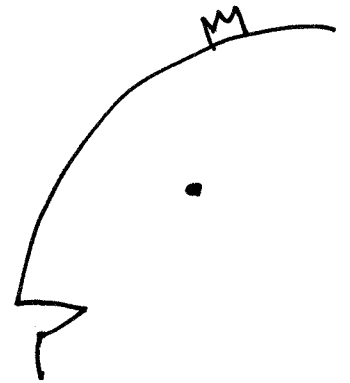
となる。

死ぬことによつて
 そのなかへいく。
 まるで死ぬこと
 によつてそのなかへ
 落し入つてしまふ
 ような感じにな
 らないかい？



それがその世界と別ならは。その中へ死んでいく
 (離れる)
 とはいかない、死んだら世界とかわかる。世界が
 (別れる)
 消えると思われいるからね。

常識的には

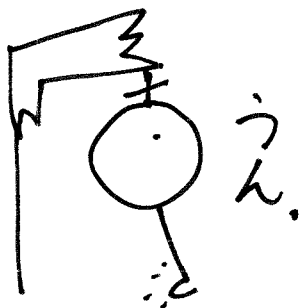


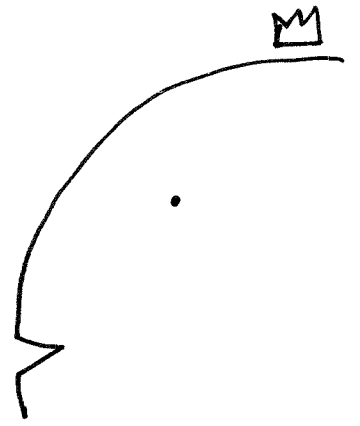
世界の中へと

死んでいくもの

とつうと本当に

変だろ!!





だからそれとは

死んでも残るもの

今この瞬間にある

目に見えなれり君という

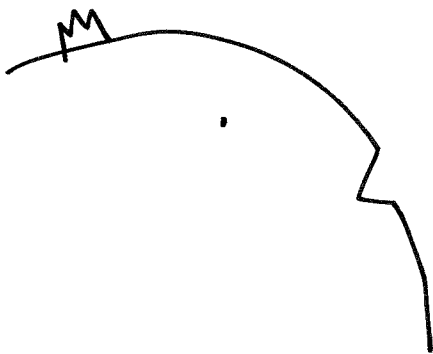
意識のことなんだね

海が本当の君だと

すると

液は個人の君と

いうことさ

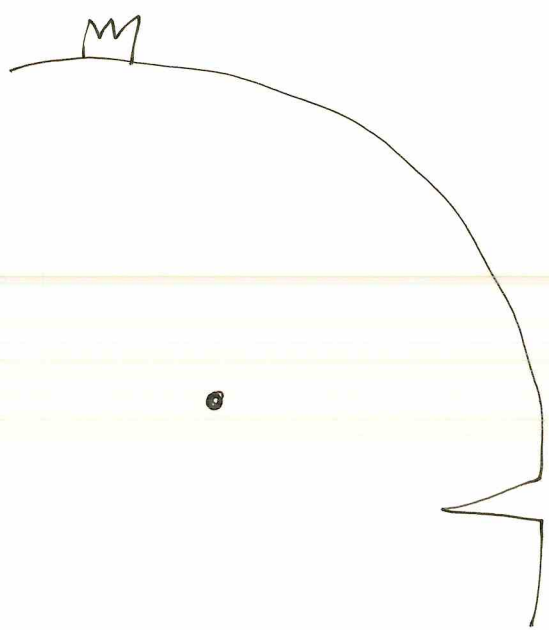


そして君という波は 波として生きることも

できるし 海として生きることもできる。 波は 海じゃない

とはいえない。 波は海そのもののアスペクト (様相) だ。

波が 自分は海でもあることを 意識 すること 海のカと



知性^{チエ}を利用することが

できる。